

和歌山県立医科大学附属病院 形成外科

当科の特徴

当科は和歌山県内で唯一の形成外科基幹施設になります。まだ創設5年目であり比較的新しい科ですが、特定機能病院として高度の専門性を必要とする疾患の治療と和歌山県全域および泉州地域（大阪部南部）の地域医療における拠点病院として重要な役割を担っています。そのため、一般的な形成外科疾患も幅広く診療しているため、早期から多くの症例を経験することができます。

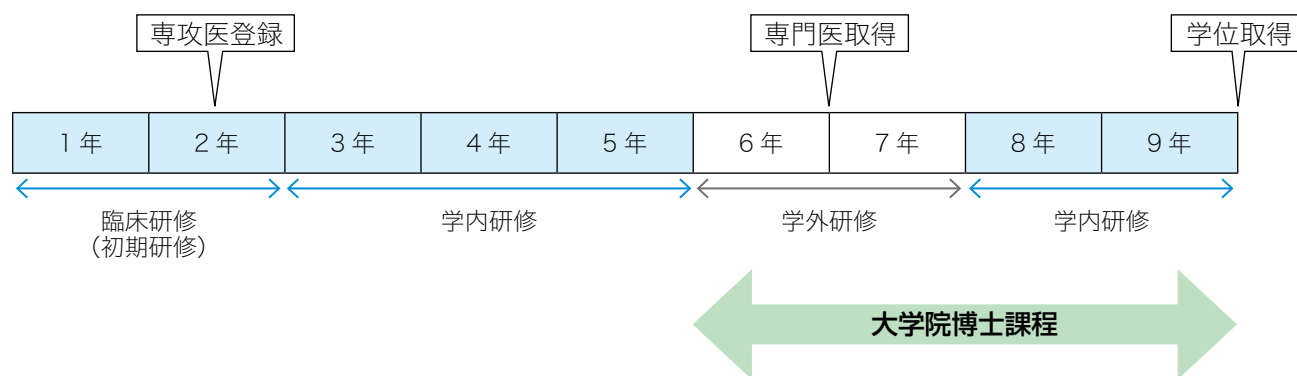
尚、卒後1、2年目の臨床研修（初期研修）終了後、3年目から6年目までは原則、新専門医制度に準拠した「和歌山県立医科大学形成外科専門医研修プログラム」に従って研修を行います。



ローテーション例

一般枠コース

※ □ は学内研修

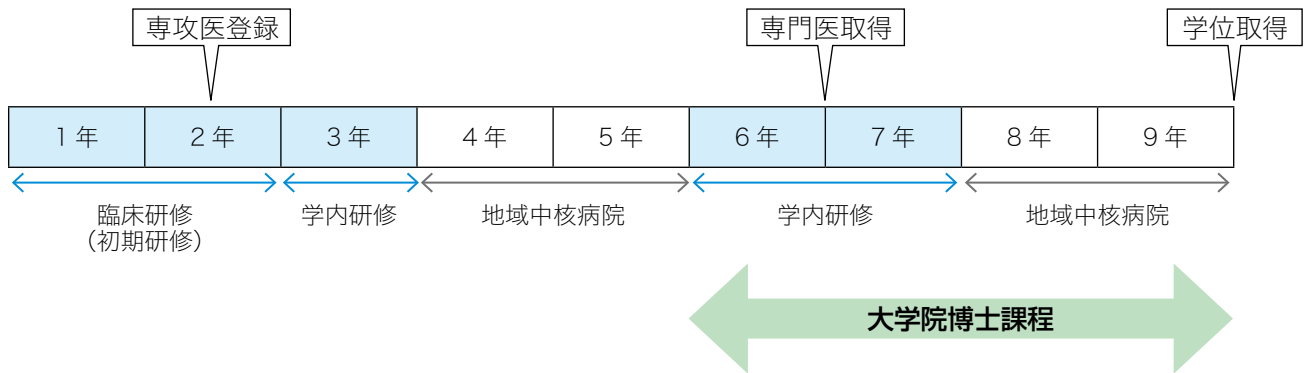


当科では、一般枠コース・県民医療枠コース区別せず、学内研修を基本に行います。

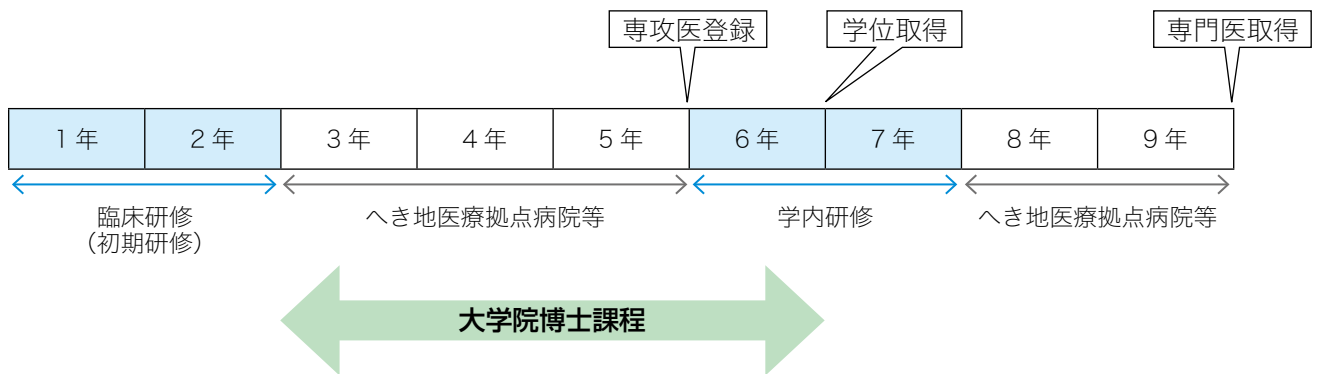
一般枠コースでは、県外施設での研修は可能です。

すべてのコースで、専門医登録後、8年間で専門医と学位習得を目指します。

ローテーション例 **県民医療枠コース** ※ □ は学内研修



ローテーション例 **地域医療枠コース** ※ □ は学内研修



※地域医療枠では連携施設の都合上、専門医取得は義務年限終了後となります。

研修目標

以下に年次毎の研修内容・修得目標を示します。

●専門研修 1 年目

一般的な医師としての基本的診療能力、および形成外科の基本的知識と基本的技能の修得を目標とします。さらに、学会・研究会への参加および e-learning や学会が作成しているビデオライブラリーなどを通して専門知識・技能の修得を図ります。

●専門研修 2 年目

1) 外傷 2) 先天異常 3) 腫瘍 4) 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド 5) 難治性潰瘍 6) 炎症・変性疾患などについて基本的な手術手技を習得します。

●専門研修 3 年目

マイクロサージャリーやクラニオフェイシャルサージャリーなど、より高度な技術を要する手術手技を習得します。また、学会発表や論文作成を行うための基本的知識を身につけます。

●専門研修 4 年目

自分自身が主体となって治療を進めていけるように、再建外科医として他科医師と協力の上、治療する能力を身につけ、言語・音声・運動能力などのリハビリテーションを他の医療従事者と協力の上、指示・実践する能力を習得します。また、形成外科を中心とした地域医療に貢献するためには、総合的な治療マネジメント能力が要求されるため、臨床能力の向上を目的とした岸和田徳州会病院における外来診療や地域連携とのコミュニケーションも含めた勉強会や講演会に積極的に参加します。

教授からのメッセージ



朝村 真一 教授

開設時私を含めて2名だった医局員が現在では9名となり、手術件数は約900件/年で増加しています。

形成外科の診療は、先天異常、

外傷、腫瘍、マイクロサージャリー（再建外科、リンパ浮腫）、クラニオフェイシャルサージャリー（頭蓋顎顔面外科）など幅広い領域を含みます。その範囲は外科系の中でも突出しており、頭から手足の先（爪）まで、あらゆる身体に生じた醜形に対し、様々な手技を用いて、治療を行う科です。形成外科医は「Surgeon's surgeon」とも称されています。

是非、外科学の基本手技を学びたい先生は、形成外科を専攻してください。

当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	日本形成外科専門医	日本小児形成外科 分野指導医	日本手外科専門医	日本頭蓋顎顔面外科専門医
和歌山県立医科大学附属病院	4名	2名	2名	1名
研修施設	再建・マイクロサー ジャーリー分野指導医	皮膚腫瘍外科 分野指導医	日本創傷外科専門医	
和歌山県立医科大学附属病院	2名	1名	1名	